

\*随想などの査読を必要としない投稿も随時受け入れています

## 日本小児科医学会会報 <原著論文投稿規程>

### 1. 投稿論文について

- 1-1. 日本小児科医学会会報(以下本誌という)への投稿論文の筆頭著者は日本小児科医学会会員に限る。共著者は、論文に関する研究や経験に関与した(重要な示唆なども含む)者に限る。ただし、広報委員会より依頼した総説等についてはこの限りではない。<投稿資格>
  - 1-2. 原著投稿論文は臨床研究および症例報告とする。なお、投稿原稿の最終的な種別・領域は広報委員会が決定する。投稿原稿は日本語に限り、以下の執筆要項に従う。
  - 1-3. 投稿論文の領域は以下に示すものとし、執筆者は投稿時に領域を申告する。
    1. 新生児 2. 循環器 3. 神経・筋 4. 精神・心身 5. 血液・腫瘍
    6. 免疫・アレルギー 7. 先天異常・遺伝 8. 腎・泌尿・生殖器 9. 内分泌・代謝
    10. 感染症 11. 呼吸器 12. 消化器・栄養 13. リウマチ・膠原病 14. 保健 15. 救急
    16. 社会医学 17. その他
  - 1-4. 原著(臨床研究)は(本文+図表)15,000字以内とする。原著(症例報告)は(本文+図表)9,000字以内とする。詳細は執筆要項を参照されたい。
2. 論文の投稿は、本誌のみに発表するものであって、他雑誌(和文、外国語を問わず)に発表された論文、あるいは発表予定の論文の投稿ではないこと。ただし、広報委員会の許諾があれば、本誌に掲載された論文を英文化して別誌に投稿することができるものとする。<二重投稿の禁止>
  3. ヒトを対象とした研究は「ヘルシンキ宣言(以後の改訂を含む)」およびこれに準ずる指針の規定を遵守すること。患者等の匿名性を十分守ったうえで、論文中にインフォームド・コンセントを得たこと、所属施設・機関等の倫理委員会・治験審査委員会等の承認を得た旨を記載すること。症例報告においても、必要に応じて同様に配慮すること。<倫理面の配慮>
  4. 日本小児科医学会が定める規定に則り、利益相反に関しては、投稿時に有無について開示すること。<利益相反>
  5. 論文の採択は、広報委員会で決定する。

採択に当たって、広報委員会は原則として2名以上に査読を依頼する。採用の決定が行われた日を受理日とする。

受理日以降は内容の変更(著者名の変更なども含む)は一切認めない。変更が必要な場合は、新規投稿扱いとなる。<論文の採否>
  6. 査読により訂正稿となった場合は、3カ月以内に再投稿すること。期限を過ぎた場合には新規投稿となる。
  7. 著者校正は1回行う。論文内容や図表の修正は認めない。校正刷は受領後3日以内に返送すること。
  8. 別冊は50部単位で請求できる。別冊印刷代金は全額投稿者の負担とする。
  9. 掲載の順序は受理日の順とする。ただし、必要書類提出など掲載条件が完了されない場合は掲載が遅れること

がある。

10. 論文の著作権について

本誌に投稿された論文の著作権は、著者と日本小児科医会が共有し、掲載論文の印刷、刊行、図表の引用および転載に関する許可の権限（著作権）は、日本小児科医会に帰属する。

なお、抄録部分（要旨を含む）のデータベースや抄録雑誌への二次的使用ないし転載、および当該論文の複写許諾権は日本小児科医会に委嘱されたものとする。

なお、日本小児科医会と特定非営利活動法人医学中央雑誌刊行会との契約により、投稿論文の要旨（抄録）は医学中央雑誌にそのまま掲載される。

11. 投稿論文が採択された場合は編集協力費として（10,000円＋消費税）を下記口座に振り込み、FAXあるいはメールにて振込名義人・振込日を事務局に通知すること。なお、入金を確認後掲載される。

振込口座

三井住友銀行 中野支店 普通預金 1407610

公益社団法人日本小児科医会 事業費 代表 神川 晃

連絡先

日本小児科医会 広報委員会事務局

FAX：075-417-2050

E-mailアドレス：jpa-ed@nacos.com

（令和2年5月1日から広報委員会事務局が変更となります）

12. 投稿原稿はA4版片面に12ポイント大きさに印字した正原稿1部を、投稿通知書および確認書、日本小児科医会会報：自己申告による利益相反報告書、日本小児科医会会報：論文投稿チェックリストとともに、下記送付先に簡易書留ないしレターパックプラスにて送付する。また、電子媒体にコピーした正原稿一部を同封すること。

なお、封筒には＜投稿原稿在中＞と明記のこと

13. 査読後再投稿原稿は電子媒体に保存し、ハードコピー1部とともに同封して郵送すること。なお、電子化原稿は下記アドレス宛にメール添付で送信してもよい。

原稿送付先：〒602-8048 京都府京都市上京区下立売通小川東入 中西印刷株式会社内

日本小児科医会 広報委員会事務局

TEL：075-441-3155 FAX：075-417-2050

E-mail：jpa-ed@nacos.com

（令和2年5月1日から広報委員会事務局が変更となります）

## 日本小児科医会会報 <執筆要項>

### 1. 原稿構成

- (1) 第1ページ目は表紙とし、表題、各々の著者の所属、著者全員の氏名（以上は和文、英文で記載）、キーワード、連絡責任者の住所、所属、氏名、電話、FAX、E-mailアドレスを記載すること。
- (2) キーワードは5個以内とし、索引として役に立つものを選ぶこと。略語は使用しないこと。また、外国語を用いる場合は、適切な日本語がない場合に限る。
- (3) 第2ページ目以降は、以下の順に作成すること。
  1. 要旨（和文抄録）、2. 本文、3. 利益相反、4. 著者役割（臨床研究）、5. 文献、6. 表、7. 図の説明、8. 図
- (4) 図、表は1点400字換算とする。

### 2. 論文種別の文字数、文献数、図・表は以下の通りである。

種別	文字数	図表	要旨	文献	キーワード	組上がり規定頁数
原著 (臨床研究)	15,000字以内	1点400字換算	600字以内	制限なし	5個以内	8頁
原著 (症例報告)	9,000字以内	1点400字換算	600字以内	15編以内	5個以内	5頁
総説	15,000字以内	1点400字換算	600字以内	制限なし	5個以内	8頁

3. (原著)臨床研究および(原著)症例報告で、組上がり規定ページを超える場合は、1ページあたり15,000円の著者負担とする。カラー印刷の代金、図のトレース費用は著者負担とする。
4. 著者の所属は、投稿時のものではなく、論文に関係する仕事をした時のものを記すこと。
5. 原著論文に関しては、表題は簡潔にし、原則として40字以内とし、副題は付けないこと。
6. 原稿は、以下の要領に従って作成すること。
  - (1) 現代かなづかい、常用漢字を用いること。
  - (2) 学術用語は原則として『小児科用語集』（日本小児科学会編）によること。  
外国語は極力避け、その使用は適当な日本語がない場合に限る。
  - (3) 表題には略語を用いないこと。ただし略語を使用したほうが分かりやすい場合は認められる。
  - (4) 本文中に略語を用いる場合は、一般に使われているものに限る。その場合、初出の際に省略しない語を記載し、括弧内に略語を示すこと。
  - (5) 原則として、外国人名は原語で、薬品名は一般名で記載すること。
7. 英数字は半角文字を用いること。
8. 図・表については以下の要領に従うこと。
  - (1) 表は、必要な情報を簡潔明瞭に示し、何を示そうとしているか分かる表題を付けること。

- (2) 図・表は、本文を参照しなくともその図・表のみで内容が分かるように工夫すること。
  - (3) 図・表とその説明文・表題などは極力日本語を使うこと。
  - (4) 図・表には各々につきアラビア数字で番号を付すこと（図1，表1など）。
  - (5) 図・写真は、そのまま縮小可能な形であること。従って、縮小されても情報が読み取れるものとする。
  - (6) 患者の顔写真を使用する際は、患者本人および患者の代諾者に十分説明の上、文書で同意を得ること。本人の意思表示ができない状態では、代諾者の同意のみとする。許可を得たことを写真の説明の中に明記する。被虐待児等の症例で同意が取れない場合には、IRB（Institutional Review Board, 施設内審査委員会）の承認を得て、その旨を写真の説明の中に明記し、目の部分を隠すなど、患者の同定を不可能にする工夫をすること。
9. 数字はアラビア数字を用い、数量の単位はkm, m, cm, mm,  $\mu\text{m}$ , L, dL, mL,  $\mu\text{L}$ , kg, g, mg,  $\mu\text{g}$ , mEq/L, mg/dLなどを用いること。mm<sup>3</sup>, cmmなどは用いず、 $\mu\text{L}$ を用いること。
10. 著者全員の著者役割を、文献の前に例のように具体的に記載する。利益相反の後に掲載される。  
（著者名）は論文の構想・設計，データの収集・解析および解釈において貢献をした。  
（著者名）は論文作成または重要な知的内容に関わる批判的校閲に関与した。
11. 引用文献
- (1) 文献は必要最小限にとどめること。
  - (2) 記載順序は引用順とし、本文中の引用箇所は、その右肩にアラビア数字を記入すること。
  - (3) 文献の書き方は、次の形式による。
    - 1) 雑誌の場合：著者名. 表題. 雑誌名 発行年；巻：通巻始ページ—通巻終ページ.
    - 2) 単行本の場合：著者名. 書名. 版数. 発行社の所在地名：発行社, 発行年.  
書籍の場合：著者名. 書名. 版数. 発行社所在地名：発行社, 発行年（西暦）.
    - 3) 分担執筆による単行本の中の分担部分の引用の場合：著者名. 分担執筆部分の表題. 編集者名. 書名. 版数. 発行社の所在地名：発行社, 発行年：分担部分の最初ページ. 最終ページ.
    - 4) 雑誌名は、その雑誌指定の略名がある場合はそれを用い、ない場合は Index Medicusあるいは医学中央雑誌の収載誌略名を用いること。
    - 5) 発行年は西暦を用いること。
    - 6) 著者名は、3名までは全員を記載する。4名以上の場合は最初の3名を記載し、「, 他」あるいは外国語文献の場合は「, et al」を付する。
    - 7) ウェブページの場合  
著者名（判れば）. “Web ページの題名”. Webサイトの名称, 入手先URL, (参照日付). とし、数年間は元データを保存する。
    - 8) 実例
      - a) Fujisawa K, Tani P, McMillan R, et al. Platelet-associated antibody to glycoprotein IIb/IIIa from chronic immune thrombocytopenic purpura patients often binds to divalent cation-dependent antigens. *Blood* 1993 ; 81 : 1284-1289.
      - b) 内田満夫, 金子 稔, 山本 洋, 他. 我が国におけるインフルエンザ（H1N1）2009に対する学校閉鎖の効果. *日衛誌*. 2013 ; 68 : 103-117.
      - c) Cohen MM. *The child with multiple birth defects*. New York : Raven Press 1982.
      - d) 大西弘高. アウトカム基盤型教育の歴史, 概念, 理論. 田邊政裕編. *アウトカム基盤型教育の理論と実践*. 東京 : 篠原出版新社, 2013 : 3-38.
      - e) Dorken B, Moller P, Pezzuto A, et al. CDw75. In : Knapp W, Dorken B, Gilks WR, et al, eds. *Lymphocyte typing IV : white cell differentiation antigens*. New York : Oxford University Press, 1989 : 109-110.
      - f) 日本小児内分泌学会のホームページ. <http://jspe.umin.jp/medical/taikaku.html> (2015年5月1日参照).

## 投稿通知書および確認書

下記題名の投稿原稿を日本小児科医会会報の原著論文（臨床研究、症例報告）として掲載を希望しますので、送付いたします。

1. 投稿原稿については、著者全員が内容を確認し、投稿について了承しました。
2. 採択され日本小児科医会会報に掲載された場合、論文の著作権（copyright）は日本小児科医会に帰属することを認めます。
3. この投稿原稿は、二重投稿ではありません。

投稿年月日： 年 月 日

論文原稿題名： \_\_\_\_\_

論文の種類・領域：（臨床研究・症例報告）（領域： \_\_\_\_\_）

著者・共著者署名（責任著者は○印欄） （自署）	確認年月日
○	年 月 日
	年 月 日
	年 月 日
	年 月 日
	年 月 日
	年 月 日
	年 月 日
	年 月 日
	年 月 日
	年 月 日
	年 月 日
	年 月 日

## 日本小児科医会会報：自己申告による利益相反報告書

著者名（共著者を含む全員）： \_\_\_\_\_


論文題名： \_\_\_\_\_

（著者全員とその対象者の配偶者、一親等の親族、収入・財産を共有する者が、投稿時から遡って過去1年間以内での発表内容に関係する企業・組織または団体との利益相反状態を、該当する著者のみ下記欄に記載してください。）  
 なお、全ての著者が下記に該当する利益相反がない場合には、次の  にチェックしてください。

すべての著者が、下記に記載の利益相反事項はありません。

項 目 (1人当たりの金額が該当する場合は有)	該当の状況	有であれば、著者名：企業名などの記載
①報酬額 1つの企業・団体から年間100万円以上	有 ・ 無	
②株式の利益 1つの企業から年間100万円以上、あるいは当該株式の5%以上保有	有 ・ 無	
③特許使用料 1つにつき年間100万円以上	有 ・ 無	
④講演料 1つの企業・団体からの年間合計50万円以上	有 ・ 無	
⑤原稿料 1つの企業・団体から年間合計50万円以上	有 ・ 無	
⑥研究費・助成金などの総額 1つの企業・団体からの研究経費を共有する所属部局（講座、分野あるいは研究室など）に支払われた年間総額が200万円以上	有 ・ 無	
⑦奨学（奨励）寄付などの総額 1つの企業・団体からの奨学寄付金を共有する所属部局（講座、分野あるいは研究室など）に支払われた年間総額が200万円以上	有 ・ 無	
⑧企業などが提供する寄付講座 (企業などからの寄付講座に所属している場合に記載)	有 ・ 無	
⑨旅費、贈答品などの受領 1つの企業・団体から年間5万円以上	有 ・ 無	

(申告日)      年    月    日

責任著者（署名・押印） \_\_\_\_\_ 

## 日本小児科医会会報：論文投稿チェックリスト

- 筆頭著者は日本小児科医会会員である
- 投稿論文は臨床研究または症例報告であり、次の領域のいずれかである
  1. 新生児, 2. 循環器, 3. 神経・筋, 4. 精神・心身, 5. 血液・腫瘍, 6. 免疫・アレルギー,
  7. 先天異常・遺伝, 8. 腎・泌尿・生殖器, 9. 内分泌・代謝, 10. 感染症, 11. 呼吸器, 12. 消化器・栄養,
  13. リウマチ・膠原病, 14. 保健, 15. 救急, 16. 社会医学, 17. その他
- 原著（臨床研究）は（本文＋図表）15,000字以内、原著（症例報告）は（本文＋図表）9,000字以内である
- 二重投稿ではない
- 論文原稿には、個人の匿名性を守り、説明と同意および所属施設の倫理委員会・治験審査委員会等の承認を得た旨を記載されている
- 日本小児科医会会報：自己申告による利益相反報告書が記入同封されている。利益相反がない場合にもその旨を記載し提出が必要)
- 投稿原稿はA4版片面に12ポイント大ききで印字してあり、「投稿通知書および確認書」が署名も含めて記載されている
- 電子媒体にコピーした正原稿一部を同封され、封筒には<投稿原稿在中>と明記されている
- 原稿送付先（下記）に簡易書留またはレターパックプラスで送付する  
〒602-8048  
京都府京都市上京区下立売通小川東入 中西印刷株式会社内  
日本小児科医会 広報委員会事務局  
TEL：075-441-3155 FAX：075-417-2050  
E-mailアドレス：jpa-ed@nacos.com  
(令和2年5月1日から広報委員会事務局が変更となります)